



令和9年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和8年8月6日

上場会社名 コンピュータマネージメント株式会社

上場取引所 東

コード番号 4491 URL <https://www.cmknet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹中 英之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 吉田 徹 TEL 050 (3508) 9000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和9年3月期第1四半期の連結業績（令和8年4月1日～令和8年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
9年3月期第1四半期	2,096	10.0	149	66.9	153	66.3	111	70.3
8年3月期第1四半期	1,906	0.6	89	0.0	92	1.2	65	7.1

(注) 包括利益 9年3月期第1四半期 278百万円 (114.6%) 8年3月期第1四半期 129百万円 (46.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
9年3月期第1四半期	54.83	54.03
8年3月期第1四半期	32.22	31.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
9年3月期第1四半期	6,065	4,306	71.0
8年3月期	5,727	4,150	72.5

(参考) 自己資本 9年3月期第1四半期 4,306百万円 8年3月期 4,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
9年3月期	—	—	—	—	—
9年3月期（予想）	—	0.00	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和9年3月期の連結業績予想（令和8年4月1日～令和9年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,020	9.5	675	7.3	697	7.3	512	0.0	251.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	9年3月期1Q	2,038,000株	8年3月期	2,038,000株
② 期末自己株式数	9年3月期1Q	290株	8年3月期	290株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	9年3月期1Q	2,037,710株	8年3月期1Q	2,036,378株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇の継続に加え、中東情勢に伴う原油・エネルギー価格の変動、地政学的リスクの高まり、金融資本市場の変動等により、依然として先行き不透明な状況が続く見込みです。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、企業の業務効率化や競争力強化を目的としたIT投資意欲は底堅く、AIやDXの推進、クラウドサービスの活用をはじめとする先進技術の導入・活用に向けた需要は引き続き堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループは、既存事業を安定的な収益基盤としつつ、ソリューションビジネスの強化に取り組んでまいりました。既存顧客との取引深耕および新規顧客の開拓を進めるとともに、AI活用支援、アライアンスの推進、ノーコード・ローコード開発、クラウド関連サービスの拡充を通して提供価値の向上を図り、収益性の改善や事業領域の拡大に努めてまいります。

なお、当社グループはシステムソリューションサービスの単一セグメントであります。システムソリューション別の概況につきましては、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	ソリューション別売上高		前年同期比 (%)
	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間	
ゼネラルソリューションサービス	1,276,327	1,387,122	108.7
インフラソリューションサービス	378,369	407,698	107.8
ERPソリューションサービス	252,129	302,003	119.8
計	1,906,827	2,096,824	110.0

① ゼネラルソリューションサービス

ゼネラルソリューションサービスにつきましては、エンドユーザービジネス、BPOビジネス及びノーコード・ローコード開発案件を中心に受注が拡大いたしました。特にBPOビジネスでは、クロスセル提案が奏功したことにより既存顧客との取引が深耕し、受注拡大に寄与いたしました。また、ノーコード・ローコード開発では、「SmartDB®」及び「webMethods」を活用したDX案件の受注が拡大しております。組織体制につきましては、部門横断での案件参画を推進し、人的リソースの有効活用・案件対応力の向上に継続して取り組んでおります。さらに、東京開発センターの移転により開発環境の拡充を図りました。以上の取組みにより、ゼネラルソリューションサービスは順調に推移いたしました。

② インフラソリューションサービス

インフラソリューションサービスにつきましては、オンプレミスからクラウドまで最適なサービス提供による事業を展開しており、利益率の高い要件定義・設計等の上流工程案件及び持ち帰り案件を軸とした営業活動の推進により受注が拡大いたしました。また、AWSを中心としたクラウド環境構築案件やビジネスパートナーを活用した動員力の増加により受注が伸長いたしました。さらに、クラウド案件需要の拡大を見据え、AWSやAzure等のクラウド技術者の育成や学習環境の整備を継続して実施し、案件対応力の強化に取り組んでおります。以上の取組みにより、インフラソリューションサービスは順調に推移いたしました。

③ ERPソリューションサービス

ERPソリューションサービスにつきましては、SAP社とのパートナーシップを活かし、大企業向け「SAP S/4HANA」の新規導入、アップグレード及び保守案件に加え、中堅・中小企業向け「SAP Cloud ERP」案件の受注が拡大いたしました。また、製造業向けERP生産管理パッケージ「mcframe」案件においても受注が伸長しております。さらに、要件定義等の上流工程への参画を推進したことにより、高付加価値案件の売上構成比率が向上し、収益性が改善いたしました。加えて、SAP運用保守サービス「CMK AMOサービス for SAP」の展開を進めることで、継続的な収益基盤の強化を図りました。以上の取組みにより、ERPソリューションサービスは順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,096,824千円（前年同期比10.0%増）、営業利益は149,307千円（同66.9%増）、経常利益は153,603千円（同66.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は111,727千円（同70.3%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産は6,065,260千円となり、前連結会計年度末に比べ337,557千円増加（前期比5.9%増）いたしました。主な要因は、売掛金109,785千円、投資その他の資産のその他に含まれる差入保証金12,724千円、保険積立金59,014千円、繰延税金資産72,264千円の減少がありましたが、現金及び預金165,248千円、仕掛品88,220千円、投資有価証券251,142千円、流動資産のその他に含まれる前払費用22,300千円、未収入金59,590千円が増加したことによるものであります。

負債は1,758,636千円となり前連結会計年度末に比べ181,605千円増加（同11.5%増）いたしました。主な要因は、未払法人税等91,396千円、流動負債のその他に含まれる未払金145,100千円の減少がありましたが、買掛金15,176千円、賞与引当金149,465千円、退職給付に係る負債10,735千円、流動負債のその他に含まれる未払費用18,202千円、契約負債167,109千円、預り金32,167千円、未払消費税等21,339千円が増加したことによるものであります。

純資産は4,306,623千円となり前連結会計年度末に比べ155,952千円増加（同3.8%増）いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額金171,192千円の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益111,727千円を計上した一方で、配当金122,262千円の支払を行ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和8年5月11日の「令和8年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,542,748	3,707,996
売掛金	1,055,851	946,066
商品	215	10,100
仕掛品	103,461	191,681
その他	88,045	168,779
貸倒引当金	△44	△39
流動資産合計	4,790,278	5,024,584
固定資産		
有形固定資産	85,415	82,565
無形固定資産	4,497	4,358
投資その他の資産		
投資有価証券	475,857	727,000
その他	385,483	231,360
貸倒引当金	△13,830	△4,610
投資その他の資産合計	847,511	953,751
固定資産合計	937,424	1,040,675
資産合計	5,727,702	6,065,260
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,694	246,871
未払法人税等	150,112	58,715
賞与引当金	188,466	337,932
その他	618,932	716,556
流動負債合計	1,189,205	1,360,075
固定負債		
退職給付に係る負債	387,095	397,830
その他	730	730
固定負債合計	387,826	398,561
負債合計	1,577,031	1,758,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,224	405,224
資本剰余金	355,224	355,224
利益剰余金	2,982,238	2,971,703
自己株式	△522	△522
株主資本合計	3,742,164	3,731,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305,050	476,242
退職給付に係る調整累計額	103,456	98,752
その他の包括利益累計額合計	408,506	574,994
純資産合計	4,150,671	4,306,623
負債純資産合計	5,727,702	6,065,260

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日）
売上高	1,906,827	2,096,824
売上原価	1,403,011	1,497,512
売上総利益	503,815	599,311
販売費及び一般管理費	414,352	450,004
営業利益	89,463	149,307
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,084	3,307
助成金収入	323	526
その他	485	820
営業外収益合計	2,892	4,655
営業外費用		
雑損失	8	360
営業外費用合計	8	360
経常利益	92,347	153,603
税金等調整前四半期純利益	92,347	153,603
法人税、住民税及び事業税	78,997	46,064
法人税等調整額	△52,269	△4,188
法人税等合計	26,727	41,875
四半期純利益	65,619	111,727
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	65,619	111,727

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日）
四半期純利益	65,619	111,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,714	171,192
退職給付に係る調整額	△2,705	△4,704
その他の包括利益合計	64,009	166,487
四半期包括利益	129,628	278,215
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,628	278,215
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日）
減価償却費	5,364千円	6,322千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、システムソリューションサービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。